

2019 年度「イオン スカラシップ」奨学生募集要項
各大学ご担当者さまへ
「選考についてのお願い」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

平素より、当財団へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2019 本年度、当要項を改訂致しました。下記資料をご参考に、学内選考を進めていただきますよう、お願いいたします。

「一般枠」で 4 名の候補者をご推薦ください。その中で選考により 2 名を認定します。

「アセアン枠」については、春の募集で 0 名の場合、同年の秋入学の学生で候補者が見つかり次第、ご推薦をお願いします。春または秋に候補者は 1 名～2 名ご推薦頂き、選考により 1 名を認定します。

「特別枠」については、当財団が対象者と判断した学生について、当枠候補者として推薦を依頼させていただくことがあります。本人から大学に先に申し出がある場合は、当財団宛ご一報ください。【補足 3】

【資料 1】 候補者の枠別 資格要件等の一覧

	「一般枠」	「アセアン枠」	備考	「特別枠」
認定人数	2 名	(0) ～ 1 名 候補者が不在の 場合は 0 名	一般枠とアセ アン枠合計 最大 3 名	一般枠、アセアン枠の人数 に影響せず、適宜
候補者人数	4 名	0 ～ 2 名	一般枠とアセ アン枠合計 最大 6 名	適宜
国籍・地域	中国、韓国、 台湾、 及び、「アセアン 枠」に該当する 右記の 9 か国	以下の 9 か国 インドネシア、 カンボジア、タイ バングラディシュ フィリピン、 ベトナム、 マレーシア、 ミャンマー、 ラオス、		中国、及び以下のアセアン 5 か国 (インドネシア、カンボジア、 タイ、ベトナム、ミャンマー)

選考時期	春の募集	春の募集 他、春の募集時に候補者が不在の場合は、同年秋入学の学生から候補者を選考することを可とする。		・該当者がいた場合、適宜選考し、認定開始時期を検討する。 ・選考は本年度選考委員会による書面審査とする。 ・渡日前入学となる場合あり
日本語能力	N1 または N2 相当	・ N1～N3 相当		・ N1～N3 相当
要件 1	イオンスカラシップ認定証授与式*に必ず参加できる者、さらに、イオンスカラシップセミナーや、当財団の他の行事に積極的に参加する意志のある者。 * 秋の認定者は次年度の認定証授与式に参加できる事			特別枠ア/イ/ウに該当する人で認定証授与式（9 月入学生は次年度）に参加できること、及び当財団の行事に参加する意志のある者
資格（共通）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学学部及び、大学院修士課程に在籍する正規生（渡日前の入学予定者を含む） ・宗教系を除く学部、分野に所属している ・本年 4 月 1 日現在で 30 歳以下（学部）又は、35 歳以下（修士課程）である ・他機関からの奨学金を受給しない（渡航費助成、入学金助成等については奨学金にはあたりません。） ・公序良俗に反することなく、学生生活を過ごせる 			
要件 2 （選考の評価材料）	①将来、日本と母国の架け橋となって活躍する意志がある ②小売業・サービス業・金融業・商業・デベロッパー（不動産業）・農業・漁業・薬業・IT に強い関心がある。【補足 1】 ③学業、人物ともに優秀で、真に経済的援助を必要とする者【補足 2】			
候補者の優先順位	原則各大学の推薦規定に基づく候補者を尊重いたしますが、要件 2 について①②③ともに満たしている学生を有力候補者として推薦下さい。			

【補足 1】要件 2 ①②について

学生からの提出書類 A「奨学生申込書」卒業後の進路について

①②について満たしているかの判断をお願いします。

【補足 2】要件 2 ③経済援助を必要としているかについて

学生からの提出書類 A「奨学生申込書」経済状況について

家賃については、首都圏学生は 7 万円程度まで、それ以外は 5 万円程度を目安としますが、地域ごとの住宅事情を鑑みて判断します。家賃以外の生活費としては 7 万円未満を目安とします。合計 12 万円～14 万円以下で生活する学生を候補として下さい（授業料負担のための収入&支出を除く）

【補足 3】「特別枠」について

「一般枠」「アセアン枠」に候補者とならず、下記ア～ウに該当する者

ア：中国・アセアン地域 元イオンスカラシップ生

*イオンスカラシップ（中国・アセアン）提携校*において、イオンスカラシップ生として卒業見込み、または既卒の者（渡日前入学の学生を含む）で、出身大学から当財団へ推薦された者

中国提携校においては、「イオン杯」日本語スピーチコンテスト優勝者、及び「イオン杯」中国全国通訳大会優勝者を含みます。

（上記の者で、日本国内提携 14 大学以外への入学者も「特別枠」として採用する場合があります。）

イ：中国・アセアン地域提携大学からの推薦を受けた者

イオンスカラシップ（中国・アセアン）提携校卒業（または卒業見込み）で、その大学から当財団へ推薦を受けた者（渡日前入学希望者を含む）

ウ：その他、当財団が当枠に該当すると判断する学生

例）当財団の高校生交流事業参加経験者 など

* イオンワンパーセントクラブ 中国・アセアン地域提携大学について

2018 年現在

国・都市	大学名 日本語表記	大学名 正式表記（略式表記）
中国（北京）	北京大学	北京大学
	清華大学	清华大学
	北京第二外国語学院	北京第二外国语学院
中国（天津）	南開大学	南开大学
中国（青島）	中国海洋大学	中国海洋大学
	青島大学	青岛大学
中国（武漢）	武漢大学	武汉大学
中国（広州）	中山大学	中山大学
	深セン大学	深圳大学
インドネシア （ジャカルタ）	インドネシア大学	University of Indonesia(UI)
	ボゴール農科大学	Bogor Agricultural University(IPB)
カンボジア （プノンペン）	王立プノンベン大学	The Royal University of Phnom Penh(RUPP)
	国立経営大学	National University of Management (NUM)
タイ （バンコク）	チュラロンコーン大学	Chulalongkorn University(CU)
	タマサート大学	Thammasat University(TU)
ミャンマー （ヤンゴン）	ヤンゴン経済大学	Yangon University of Economics(YUE)
	ヤンゴン外国語大学	Yangon University of Foreign Languages(YUFL)
ベトナム （ハノイ）	ハノイ貿易大学	Hanoi Foreign Trade University(FTU)
	ハノイ人文社会科学大学	University of Social Science and Humanities, Hanoi(USSH)
	ベトナム農業大学	Vietnam National University of Agriculture(VNUA)
ベトナム （ホーチミン）	ホーチミン市教育大学	University of Social Science and Humanities, Ho Chi Minh City(USSH)
	ホーチミン市人文社会科学大学	Ho Chi Minh City University of Education (HCMUE)

以上